# 看護教育関係\*1

# 畑尾正彦\*2藤崎和彦\*3

### はじめに

日本における近代的な看護教育のはじまりは明治に遡る。その次の節目は第二次世界大戦後のGHQとの協議による改革であろう。

有志共立東京病院 (慈恵医大の前身である成医会講習所の病院) にミス・エム・イー・リード (Miss M. E. Reede) を招いて看護法の教授が始められたのは、1884 (明治 17) 年である。1886 年には看護婦教育所が落成した<sup>1)</sup>。慈恵看護専門学校の前身である。

1887 (明治 20) 年に東京大学で初めての看護教育が、アクニース・ヴェッチ (Miss Agnes Vetch) によって行われた。アクニース・ヴェッチは 1874年に、ナイチンゲールシステムを導入したエディンバラ王立教貧院病院附属看護学校の第1回卒業生で、1887年に旅行者として来日し東京大学に迎えられた<sup>2)</sup>。のちに東京大学医学部附属看護学校が開校する。

日本赤十字社看護婦養成規則は 1889 (明治 22) 年に制定され,翌年に看護婦養成所が開校した<sup>3)</sup>。 のちの日本赤十字女子短期大学(1954 年),日本赤 十字看護大学(1986 年)である。

聖路加病院で看護婦養成が開始されたのは 1904 (明治 37) 年であり、聖路加国際病院高等看 護婦学校(1921 年)、聖路加短期大学(1954 年)、 聖路加看護大学(1964 年)となる<sup>4</sup>。

## 1. 看護教育制度とカリキュラム

1946 (昭和 21) 年 4 月 11 日に看護教育審議会が 開かれ,東京看護教育模範学院の設立,看護婦免 許制度,カリキュラムなどが討議された。

① 1947 (昭和 22) 年に保健婦助産婦看護婦令, 1948 (昭和 23) 年に保健婦助産婦看護婦法が公布され,保健婦助産婦看護婦学校養成所指定規則は1951 (昭和 26) 年に文部・厚生省令として定められた。甲種看護婦養成所カリキュラム (1947年)として示された教科内容は表1のとおりである。

②その後、健康、保健医療および看護の概念の変遷にともない、医療制度調査会の答申を背景に、1967 (昭和 42) 年 11 月 30 日、文部・厚生両省による看護学校のカリキュラム改正が示され、1968年度の入学者から適用された。その教科内容は表2のとおりである。

人間を生物,心理,社会的側面から総合的にとらえ,疾病の診断や治療だけでなく,疾病の予防,社会復帰,健康の保持・増進を含めて,健康のあらゆるレベルに対して働きかけていこうとする医療の概念の拡大に対応し,看護教育は,1)看護業務の内容の質的分類に対応して,それぞれの教育制度および教科内容を再検討する,2)看護教育を振興するために,教育機関を学校教育法上の学校(大学,短大,高専,高校)とする具体的方策を検討する必要がある,3)教育を充実するため,教育機関における専任教員および臨床指導者の確保に必要な対策を強化すべきである,とされた。

それまでの疾患中心の治療,処置,対症看護に とどまらず,総合保健医療の概念にそった看護の 役割を果たすことのできるような看護教育が要請 されたのである。

<sup>\*&</sup>lt;sup>1</sup> Trends of Nursing Education in Japan キーワーズ:看護教育カリキュラム,看護系学校,卒 後継続看護教育,専門看護師,認定看護師

<sup>\*2</sup> Masahiko HATAO 日本赤十字武蔵野短期大学

<sup>\*3</sup> Kazuhiko FUJISAKI 奈良県立医科大学

163

衣 1.	中悝有護	帰養风所カリヤュフム	(1947年)
時間	数	看護学内訳	時間数

	学	科	目			時間数
解	剖	生	珥	E	学	90
病理	里学細菌	i 学 及	とび	消毒	法	70
看		護			学	585
栄	養 学 及	びこ	食 創	療	法	120
薬	理学》	支 び	調	剤	学	45
衛		生			学	50
物	理 学	及	び	化	学	45
衛	生		統		計	20
衛	生		法		規	15
社会	*学大意及	なび医	療社	上会事	業	30
教	育 及	: 7	ŗ	心	理	45
		計				1,115

看護学内訳	時間数
看護史及び看護倫理	20
一般基礎看護法	100
看 護 管 理 法	15
内科学及び看護法	50
外科学及び看護法	80
小児科学及び看護法	45
産婦人科学及び看護法	45
伝染病学及び看護法	45
皮膚泌尿器科学及び看護法	30
眼科学及び看護法	15
耳鼻咽喉科学及び看護法	20
歯科学及び看護法	10
理 学療法	15
臨床診療介補技術	35
手 術 室 勤 務 技 術	15
総 合 症 例 研 究	15
精神病学及び看護法	30
ät	585

	臨床実習科目	週
	内 科	15
病	外 科	15
室其	小 児 科	15
の他	産婦人科	12
他	伝染病科	10
勤	手 術 室	10
務	調理室	8
	精神病科	3
	内 科	4
41	外 科	4
外	小 児 科	4
-+-	産婦人科	4
来	皮膚泌尿器科	3
#1	眼 科	3
勤	耳鼻咽喉科	3
74	歯 科	2
務	理学療法科	2
	精神病科	3
	その他8週間	
	計	128

③ 1989 (平成元) 年に,看護職員をめぐる環境 および看護業務の質的・量的変化への対応をはか るという意図のもとにカリキュラムが改正された (表3).

改正の基本的な考え方は、1) 医療の進歩に対 応できる判断および応用能力, さらに問題解決能 力を身につけるための,幅広い学習を目指したゆ とりのあるカリキュラムとすること、2) 高齢社 会へ向けて,医療施設以外への看護の場の拡大と, 継続的な看護の重視をはかること,3)国民の健 康やその管理への関心の高まりに対し、健康教育 やリハビリテーション, ターミナルケアなどをも 含め, さまざまな健康段階に対応できるための知 識を重視すること、4)チーム医療を推進できる よう, 多くの職種と連携をとることへの教育を行 うこと, 5) 実習を質的に重視し, 従来認められ ていた校内実習や演習は、講義の時間に含めるよ うにすること,の5つである。その具体的な改正 点は、1)時間数を3.370時間から3.000時間と する,2)科目の構成が基礎科目,専門基礎科目, 専門科目の3つに大別される.

基礎科目は人文科学, 社会科学, 自然科学の中

から2科目ずつを選択するようになった。専門基礎科目では解剖学と生理学は統合されて解剖生理学として120時間となり,病理学は30時間増えて75時間となり,その中に,改正前のカリキュラムで「内科疾患と看護」とされていた科目の疾患の部分を含めることになった50.

④ 1996 (平成8) 年8月に保健婦助産婦看護婦学校養成所指定規則等が改正され,1997年4月から施行された。この改正のねらいは,1) 高齢化の進展,在宅療養者の増加に伴う,在宅医療,訪問看護のニーズの増大に対応するとともに,医療の高度化,専門化に対応した看護を提供することのできる資質の高い看護職員を養成するため,2) 看護をとりまく環境の変化に養成所が柔軟に対応できるようにするとともに,創意工夫のあるカリキュラムを編成することにより,各養成所の魅力の向上を図ることを可能とするため,3) 学生が自己学習能力を強化できる学習体制を推進するため,とされる.

従来「科目」ごとに「時間数」が規定されていたところを、「教育内容」による「単位数」で表記することになり、教育内容の領域の中で学校が独

### 表 2. 1967年改正カリキュラム

## 科目

	科 目	時間数
	物理学	30
基	化学	30
	生物学	30
礎	統計学	30
科	社会学	30
日	心理学	30
Г	教育学	30
	外国語	120
	体育	60
	医学概論	15
	解剖学	45
	生理学	45
	生化学(栄養学を含む)	45
車	薬理学(薬剤学を含む)	30
.,	病理学	45
門	微生物学	45
科	公衆衛生学	30
	社会福祉	15
目	衛生法規	15
	看護学	2,655
	看護学総論	360
	成人看護学	1,665
	小児看護学	300
	母性看護学	330
	合 計	3,375

#### 参考

基礎科目	1	390	11.5
専門科目	1	2,985	88.5
看護学	を除く	330	9.8
看護学	<u> </u>	2,655	78.7
合	計	3,375	100%
講	義	1,605	47.6
実	習	1,770	52.4

看護学内訳

科目		時間数		備 考
村 日	講義	実習	計	加 有
看護学総論	150	210	360	
看護概論	60		60	看護史及び看護倫理を含む.
看護技術	90	90	180	
総合実習		120	120	
成人看護学	495	1,170	1,665	
成人看護概論	30		30	
成人保健	60		60	精神衛生を含む。
成人疾患と看護	405	1,170	1,575	
内科疾患と看護	135	435	570	伝染性疾患及び寄生虫疾患を含
				t.
精神科疾患と看護	30	90	120	
外科疾患と看護	90	330	420	救急処置及び手術室実習を含
				む.
整形外科疾患と看護	45	90	135	
皮膚科疾患と看護	15	1	} 75	
泌尿器科疾患と看護	15	} 45	J 13	
婦人科疾患と看護	30	45	75	
眼科疾患と看護	15			
耳鼻咽喉科疾患と看護	15	90	135	
歯科疾患と看護	15	J	J	
保健所等実習		45	45	
小児看護学	120	180	300	
小児看護概論	15		15	
小児保健	30	} 180	} 285	保健所等実習を含む。
小児疾患と看護	75	J 100	J 200	体性別等天白を占む。
母性看護学	120	210	330	
母性看護概論	15		15	
母性保健	75	} 210	315	   保健所等実習を含む。
母性疾患と看護	30	J 210	J 313	体歴/川寸大自で立む。
合 計	885	1,770	2,655	

備考 保健所における実習は,全体を通じて60時間を標準として実施するものとする. 指定規則第27条

男子については、 
□ 印を「精神科疾患と看護」へ読み替えるものとする。

自に科目を設定し、授業時間数もある程度独自に設定することが可能となった。創意工夫のあるカリキュラムにより、魅力の向上を図ることが期待される<sup>6</sup>.

## 2. 看護教育機関

第二次世界大戦後,1951年に示された保健婦助 産婦看護婦養成所指定規則に基づいて,種々の看 護教育機関が看護教育を行ってきたが,1967年の 文部・厚生省令により、学校教育法上の学校である大学、短大、高専、高校が看護教育を行うことになった。

それぞれの学校数は表 4 ,大学数の変遷は表 5 のとおりであり,看護学校制度の変遷は図 1 ,看護系の国家資格を取得する道程は図 2 のとおりである7 .

学士課程(4年制)で看護教育が始まったのは 1952年高知女子大学であり,1953年東京大学医学

表 3. 1989年改正カリキュラム

	表 3. 1989年改正カリキュラム											
	<b>4</b> 31	時	間	数	/## ++/							
	科 目	講義	実習	計	備考							
	人文科学 2 科目	60		60								
基	社会科学 2科目	60		60								
礎	自然科学 2科目	60		60								
基礎科目	外国語	120		120								
_	保健体育	60		60	実技を含む。							
	小 計	360		360	12%							
	医学概論	30		30								
	解剖生理学	120		120								
専	生化学	30		30								
	栄養学	30		30								
門	薬理学	45		45								
基	病理学	75		75								
	微生物学	45		45								
礎	公衆衛生学	30		30								
科	社会福祉	30		30	i.							
	関係法規	30		30								
目	精神保健	45		45								
	小 計	510		510	17%							
	基礎看護学	300		300								
	看護学概論	45		45								
	基礎看護技術	195		195								
	臨床看護総論	60		60								
	成人看護学	315		315								
	成人看護概論	15		15								
	成人保健	30		30								
専	成人臨床看護	270		270								
-11-	老人看護学	90		90								
	老人看護概論	15		15								
門	老人保健	15		15								
	老人臨床看護	60		60								
	小児看護学	120		120								
科	小児看護概論	15		15								
	小児保健 小児臨床看護	30 75		30 75								
	母性看護学	120		120								
目	母性看護概論	15		15								
	母性保健	30		30								
	母性臨床看護	75		75								
	臨床実習		1,035	1,035								
	基礎看護		135	135								
	成人看護		630	630								
	老人看護		,	)								
	小児看護		135	135								
	母性看護		135	135	実習:総時間の34.5%							
	小 計	945	1,035	1,980	66%							
	計	1,815	1,035	2,850	95%							
	選択必修科目			150	専門基礎科目,専門科目のうちから 選択して講義又は実習を行う。5%							
	合 計			3,000	100%							
		1		1	1							

表 4. 看護系学校数の推移

				表 4.	<b>看護糸字</b> 標	父女(ノ)推査	<b>3</b>														
					(1995)	平成	8年4月	(1996)	平成9年4月		(1997)										
	Cl:	区 分 assification	学校数 Schools	1学年 定 員 Capacity for year	総定員 Total student capacity	学校数 Schools	1学年 定 員 Capacity for year	総定員 Total student capacity	<b>学校数</b> Schools	1 学年 定 員 Capacity for year	総定員 Total student capacity										
Pub 保	I	大  学 University, college		2,018	2,018	44	2,672	2,672	50	3,288	3,288										
lic hea		短期大学専攻科 Junior college	13	385	385	15	465	465	17	540	540										
R 健婦 (士)	P.	養 成 所 H. nursing school	46	1,682	1,682	44	1,605	1,605	42	1,525	1,525										
urses (士)		合 計 Total	97	4,085	4,085	103	4,742	4,742	109	5,353	5,353										
助	U	大  学 niversity, college	18	774	774	21	1,182	1,182	26	1,380	1,380										
Midwives 産		短期大学専攻科 Junior college	30	566	566	31	580	580	33	610	610										
vives	N	養 成 所 Iidwifery school	50	1,095	1,095	49	1,065	1,065	48	1,055	1,055										
婦		合 計 Total	98	2,435	2,435	101	2,827	2,827	107	3,045	3,045										
	3-year course	大 学 University, college	40	2,448	9,766	46	2,838	11,692	52	3,328	13,226										
		3-year cou 3年課程	3-year cou	短期大学 Junior college	66	5,040	15,120	71	5,270	15,780	72	5,410	16,230								
Nurs				養 成 所 Nursing school	485	23,424	70,657	490	24,071	72,693	496	23,957	72,501								
護 (Ma		計 Total	591	30,912	95,543	607	32,179	100,165	620	32,695	101,957										
看護婦(士)*	2-у	短期大学 Junior college	14	640	1,380	13	640	1,280	13	630	1,260										
ses) *		2-у	2-у	2-у	2-у	2-yı	2-y	2-ye	2-ye	2-y <sub>0</sub>	2-y <sub>0</sub>	2-ye	高等学校専攻科 Advanced course in nursing high school	50	2,310	4,620	52	2,435	4,850	53	2,475
	2-year course	養 成 所 Nursing school	373	16,076	41,560	376	16,156	41,630	377	16,126	41,510										
	ırse	計 Total	437	19,026	47,560	441	19,231	47,760	443	19,231	47,720										
	合 計 Total		1,028	49,938	143,103	1,048	51,410	147,925	1,063	51,926	149,677										
Assis		等学校衛生看護科 ırsing high school	131	7,482	22,613	130	7,485	22,665	131	7,485	22,665										
Assist, nurses**	Ass	養成所 sist, nursing school	456	22,970	46,097	443	22,521	45,252	439	22,186	44,372										
±)**		合 計 Total	587	30,452	68,710	573	30,006	67,917	570	29,671	67,037										
_		総 計 Grand total	1,810	86,910	218,333	1,825	88,985	223,411	1,849	89,995	225,112										
	七巻の	Grand total	1,810	86,910	218,333	1,825	88,985	223,411	1,849	89,995	225										

注 大学の場合

<sup>(1)</sup> 保健婦(士)・助産婦教育は4学年次に行われる。

<sup>(2)</sup> 助産婦学生定員は保健婦(士)学生定員に含まれる.

看護教育関係 167

表 5. 有護术人子・双人致の推修												
			看護婦(	士)(3年課	程)3-year c	course for i	nurses (male	nurses)				
年 次 Year			大 Universit	学 y, College		短期大学 Junior college						
		学校数	1 学年定員	入学者数 Admitted student		学校数	1 学年定員	入学者数 Admitted students				
			Capacity	実数	充足数		Capacity	実数	充足数			
		Schools	for year	Actual No.	Filling-up ratio	Schools	for year	Actual No.	Filling-up ratio			
		カ所	人	人	%	カ所	人	人	%			
昭和62年4月	(1987)	11	515	481	93.4	46	3,250	3,315	102.0			
63 "	(1988)	11	525	494	94.1	50	3,550	3,646	102.7			
平成元年 //	(1989)	12	578	539	93.3	54	3,880	3,960	102.1			
2 "	(1990)	11	558	547	98.0	57	4,140	4,253	102.7			
3 "	(1991)	11	558	556	99.6	58	4,310	4,466	103.6			
4 "	(1992)	14	768	788	102.6	60	4,470	4,687	104.9			
5 <i>"</i>	(1993)	21	1,198	1,258	105.0	60	4,520	4,714	104.3			
6 "	(1994)	30	1,778	1,862	104.7	60	4,580	4,831	105.5			
7 "	(1995)	40	2,448	2,634	107.6	66	5,040	5,211	103.4			
8 "	(1996)	46	2,838	3,009	106.0	71	5,270	5,489	104.2			
9 "	(1997)	52	3,328	3,507	105.4	72	5,410	5,669	104.8			

表 5. 看護系大学・短大数の推移

部衛生看護学科,1964年聖路加看護大学,1968年 名古屋保健大学,1975年千葉大学看護学部,1986 年日本赤十字看護大学と続く。医療を取り巻く多 くの要因の変化に対応して看護教育に求められる ものが質的に高度となり,高学歴指向とも相まっ て,1993年から看護大学が急増してきている。

大学院看護学研究科修士課程は,1979 年千葉大学,1980 年聖路加,1990 年北里大学,1993 年日赤に,博士課程(後期)は,1989 年聖路加,1992 年千葉大学,1995 年日赤に設置された<sup>8)</sup>.

# 3. 看護婦国家試験

1950 年に第1回看護婦国家試験が施行された。 1997 年は第75回であった。最近10年の看護婦国 家試験の概要は表6のとおりである<sup>7</sup>.

### 4. 卒後継続看護教育

看護学校(大学、短大、専門学校、高校など)における看護・看護学の基礎教育についての概況は、上記1.,2.のとおりであるが、看護学校の教員の養成を含め、卒後教育も継続教育として、日本看護協会看護教育・研究センター(次項)、厚生省看護研修研究センター、日本赤十字幹部看護婦研修所などで行われている。

厚生省看護研修研究センターは,看護婦などの質的向上を目的として,基盤となる看護教育の充実を図るため,1977年に設置されたもので,看護教員の教育と看護教育に関する調査・研究を行っている。看護教員(看護婦,保健婦,助産婦)養成課程,幹部看護教員養成課程,海外研修生受入課程の5コースがあり,いずれも期間は1年である<sup>7</sup>)。

日本赤十字幹部看護婦研修所は1952年以来,1 年課程で看護の指導者教育を行ってきた。専門看 護の実践者や看護管理者,教育者としての能力開 発を重視し,人材育成のための看護継続教育体制 の確立を見据え,生涯教育の視点にたって,積み 重ねのできる教育システムの整備が方向づけられ ている<sup>31</sup>.

### 5. 日本看護協会と看護教育・研究センター 9)

日本看護協会は保健婦(士),助産婦,看護婦(士),准看護婦(士)の免許取得者を会員とする全国組織である。1946年に,保健婦,助産婦,看護婦のおのおのの団体を1つの職能団体として結成した「日本産婆 看護婦 保健婦協会」として発足し,1951年に「日本看護協会」と名称変更した。

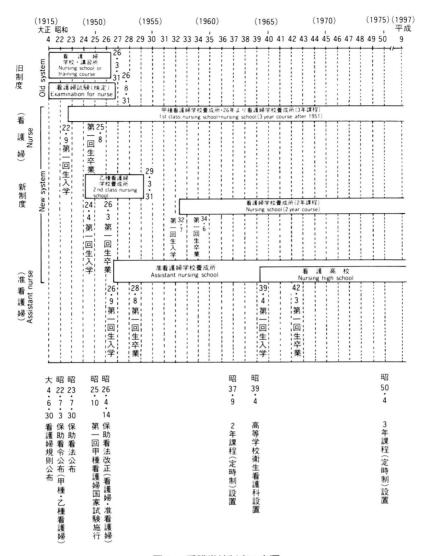


図1. 看護学校制度の変遷

会員数 (年度末) は 1994年 384,811,1995年 404,782,1996年 425,190,1997年(9月)460,473 人と増加しており,就業看護婦数の約 47%に相当する.

看護協会は、1972年に看護教員養成のための看護研修学校を開校し、さらに 1987年に総合的な教育を目ざして看護研修センターを設立し卒後教育部を設置した。1995年には専門看護師・認定看護師認定部を設置するとともに卒後教育部は継続教育部に改組、1996年、看護研修センターは看護教育・研究センターと名称変更した。

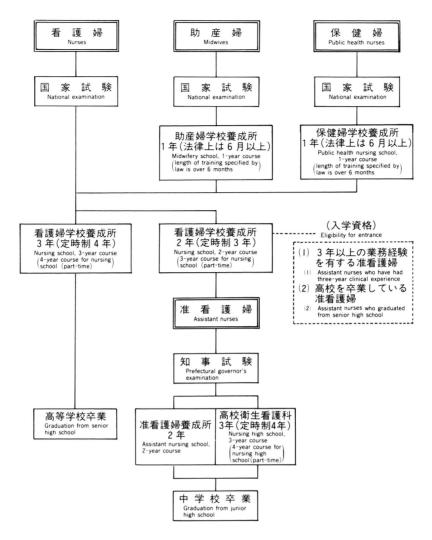
現在,センターには看護研修学校,継続教育部,

認定部のほか,会員の研修や研究に必要な資料を 収集・提供する図書館と管理運営にあたる管理部 が置かれている.

看護研修学校には修業年限1年の看護研修学科 が置かれ,教員養成を担当している.

継続教育部では、「看護管理」「看護教育」「看護 実践」「看護トピックス」の4つのコース(年間30 クラス、受講対象者約3,000名)によって、会員 の能力開発と資質の向上のための教育プログラム を企画、実施している。

認定部では,専門看護師の認定と,認定看護師 の教育ならびに認定を行っている. 看護教育関係 169



(注) 学校養成所の下段は修業年限。

図2. 看護職の国家資格取得までの道程

### 6. 専門看護師・認定看護師制度<sup>9)</sup>

保健医療をめぐる環境が大きく変化し、看護職にも複雑・高度な業務や特殊な機能を要する業務、健康教育・保健指導に関する業務が、質・量ともに要求されている。このような社会のニーズに対応して、日本看護協会では、1995年に専門看護師制度、1996年に認定看護師制度を発足させ、1997年から認定を開始した。

①専門看護師制度:複雑で解決困難な看護問題をもつ個人・家族や集団に対して,水準の高い看

護ケアを効率よく提供するための、特定の専門看護分野の知識・技術を深めたものを専門看護師として認定し、実践、教育、相談、調整、研究といった役割を果たすことで、保健医療福祉の発展に貢献し、あわせて看護学の向上をはかることを目的とするものである。専門看護師の教育は、現在のところ看護系大学院修士課程において行われる。

専門看護分野として特定されたのは,精神看護, がん看護,地域看護の3つの分野である。第3回 認定試験合格者を含めて,1997年までに精神看護

試験実施	保健婦(士) Public health nurses				力産婦		看護婦(士)			
年 月				Midwives			Nurses (Male nurses)			
Date of	受験者	合格		受験者	合格		受験者		各者	
Examination	Examinees	Those 1	passed	Examinees	Those	passed	Examinees	Those	passed	
62. 8. (1987)	82	(75.6)	62	77	(88.3)	68	933	(69.3)	647	
63. 3. (1988)	2,139	(99.9)	2,137	1,488	(99.3)	1,478	32,774	(95.4)	31,257	
63. 8. (1988)	_		_	_		_	1,843	(72.8)	1,342	
平成元年 3 月 (1989)	2,130	(97.8)	2,084	1,493	(99.5)	1,486	33,728	(98.0)	33,054	
元. 8. (1989)	_		_	_		_	899	(55.8)	502	
2.3. (1990)	2,353	(98.8)	2,324	1,513	(99.0)	1,498	34,419	(95.8)	32,989	
3.3. (1991)	2,318	(98.9)	2,292	1,505	(98.5)	1,483	36,042	(95.4)	34,385	
4.3. (1992)	2,357	(99.2)	2,339	1,500	(99.8)	1,497	37,053	(98.5)	36,505	
5.3. (1993)	2,432	(99.8)	2,428	1,581	(97.2)	1,537	38,112	(99.2)	37,809	
6.3. (1994)	2,575	(94.3)	2,427	1,169	(97.2)	1,573	40,445	(98.9)	40,004	
7.3. (1995)	2,679	(95.6)	2,562	1,646	(98.6)	1,623	42,532	(96.0)	40,822	
8.3. (1996)	2,893	(98.2)	2,842	1,622	(97.4)	1,580	45,600	(89.8)	40,927	
9.3. (1997)	3,309	(92.6)	3,063	1,634	(98.0)	1,601	49,774	(87.0)	43,317	

表 6. 看護婦国家試験の概要

注 (1) 合格者欄の() 内の数は,合格率である。

分野に4名,がん看護分野に5名,地域看護分野に2名の専門看護師が誕生した。

②認定看護師制度:特定の看護分野において, 熟練した看護技術と知識を用いて,水準の高い看 護実践のできるものを認定看護師として認定し, 実践,指導,相談といった役割を果たすことで, 看護現場における看護ケアの広がりと質の向上を はかることを目的とするものである。

認定する看護分野として特定されたのは,救急看護と創傷・オストミー・失禁(WOC)看護および重症集中ケアの3分野である.1997年5月に救急看護分野に17名,WOC看護分野に20名の認定看護師が誕生した.

認定看護師の教育は6か月間(600時間)で,当 センターにおいて実施している。重症集中ケアの 分野については、まだ教育が開始されていない。

# 7. 看護教育に関連した学会

現在,日本には2つの看護教育に関連した学会がある.

なお,看護に関連があるが,看護教育という直接の名称を冠さない学会(日本看護科学学会,日本看護診断学会,日本 POS 医療学会など)について,本稿では割愛する.

①日本看護教育学学会10)

看護教育学の発展を図り、広く知識の交流を深めることを目的として、1986年に「看護教育学研究会」として発足し、1991年から「看護教育学学会」として活動している。

看護学を専攻する教育・研究者または看護教育学に業績のある者が会員の資格とされる。総会,理事会,評議員会,学術集会企画委員会,編集委員会が置かれ,毎年,学術集会が1回(8月),学会定例会が8回開催されている。学会誌「看護教育学研究」は年2回の発刊である。

#### ②日本看護学教育学会11)

日本看護学教育学会は、全国看護教育研究会 (1952 年発足)を前身として、1991 年 7 月 29 日に 設立された。本学会は、看護学教育の向上を図り、看護学の発展に寄与することを目的として、1) 学術集会の開催 (年 1 回) 2) 会誌等の発行 3) 看護学教育に関する研究および情報交換 4) 研究 助成事業 5) その他本学会の目的達成に必要な事業を 行っている。1997 年に日本学術会議の登録学術研究団体となった。会員数約 2,000 名。

### 文 献

- 1) 慈恵看護教育百年史。1984
- 東京大学医学部附属看護学校:看護教育百八年のあゆみ。1995

- 3) 日本赤十字看護婦養成百年記念誌。1992
- 4) 聖路加看護大学からの提供資料
- 5) 厚生省健康政策局看護課監修:看護教育カリキュラム、第一法規,東京,1989
- 6) 看護問題研究会監修:新訂看護教育カリキュラム. 第 一法規,東京,1997
- 7) 看護問題研究会監修:平成9年看護関係統計資料集。

日本看護協会出版会, 東京, 1997

- 8) 文部省高等教育局大学課監修:平成8年度全国大学一 覧. 1996
- 9) 日本看護協会 看護教育・研究センターからの提供資料
- 10) 日本看護教育学学会からの提供資料
- 11) 日本看護学教育学会からの提供資料

\* \*